

記者発表（資料配布）				
月／日 (曜日)	担当部署名	電話番号 ダイヤルイン	発表者名 (担当名)	その他 配布先
1/8 (木)	東播磨県民局 加古川土木事務所	078(912)3378	明石街づくり対策室長 恒藤 博文 (所長補佐兼明石事業第1課長 幾田 正一郎)	——

県内初! 道路の案内標識“最適化”にチャレンジします! ～持続可能な標識の維持管理に向けた試行取組～

道路利用者に道順や現在地等を知らせる多くの案内標識、特に、各交差点に設置している「交差点名標識」は県内約9,000枚(県管理分)にのぼり、文字が薄くなって見づらくなる等の経年劣化への対応が大きな課題となっています。

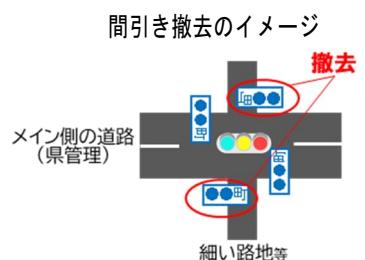
そこで、標識を将来にわたって適切に維持管理していくため、県内では初となる“最適化”的取組を加古川土木事務所明石管内で試行します。



交差点名標識“最適化”的概要

1 枚数の最適化(間引き撤去)

- (1) 交差点の方向別に複数枚設置している標識のうち、細い路地等、案内を必要とする交通が少ないと考えられる標識を複数の条件に当てはめて整理・抽出《右図イメージ》。
- (2) 明石管内全383枚のうち、条件に合致した103枚(約3割)を令和8年度までに段階的に撤去します。



2 メンテナンス費用の最適化(高コスパ"標識板の試験施工)

- (1) 耐用年数約15年*、1枚交換するのに約25万円の費用を要する現行の仕様に対し、“コストパフォーマンス”を追求するため、表面素材の異なる3種類の標識板を製作。

*耐用年数：現場実態やメーカー資料をもとに設定

- (2) 明石市内の県道脇スペース2箇所に特設した「試験地」に各種標識板を並べて設置し、見え方や劣化スピードの違いを比較検証していきます。



「試験地」の場所

- ① 県道有瀬大蔵線(明石市大蔵町)
- ② 県道江井島大久保停車場線(同市大久保町福田)

『試験地』の様子

(明石市大蔵町)

通行者に試験施工の目的や内容をお知らせする説明看板を併設しています。

詳しくは、別添リーフレットをご覧ください。